

研究成果の刊行に関する一覧表

Ishihara T, Ozawa T, Igarashi S, Kitsukawa Y, Takagi M, Hirose M, Tokutake T, Tanaka K, Nishizawa M	Atypical parkinsonism in distal myopathy with rimmed vacuoles	Mov Disord	23(6)	912-915	2008
Yokoseki A, Shiga A, Tan C-F, Tagawa A, Kaneko H, Koyama A, Eguchi H, Tsujino A, Ikeuchi T, Kakita A, Okamoto K, Nishizawa M, Takahashi H, Onodera O	<i>TDP-43</i> mutation in familial amyotrophic lateral sclerosis	Ann Neurol	63(4)	538-542	2008
Nishihira Y, Tan C-F, Onodera O, Toyoshima Y, Yamada M, Morita T, Nishizawa M, Kakita A, Takahashi H	Sporadic amyotrophic lateral sclerosis: two pathological patterns shown by analysis of distribution of TDP-43-immunoreactive neuronal and glial cytoplasmic inclusions	Acta Neuropathol	116(2)	169-182	2008
Hara K, Shiga A, Nozaki H, Mitsui J, Takahashi Y, Ishiguro H, Yomono H, Kurisaki H, Goto J, Ikeuchi T, Tsuji S, Nishizawa M, Onodera O	Total deletion and a missense mutation of ITPR1 in Japanese SCA15 families	Neurology	71(8)	547-551	2008
Shimohata T, Ozawa T, Nakayama H, Tomita M, Shinoda H, Nishizawa M	Frequency of nocturnal sudden death in patients wit multiple system atrophy	J Neurol	255(10)	1483-1485	2008
Orimo S, Uchihara T, Nakamura A, Mori F, Ikeuchi T, Onodera O, Nishizawa M, Ishikawa A, Kakita A, Wakabayashi K, Takahashi H	Cardiac sympathetic denervation in Parkinson's disease linked to <i>SNCA</i> duplication	Acta Neuropathol	Epub ahead of print	PMID: 18751989	2008/8
Takahashi Y, Seki N, Ishiura H, Mitsui J, Matsukawa T, Kishino A, Onodera O, Aoki M, Shimoizawa N, Murayama S, Itoyama Y, Suzuki Y, Sobue G, Nishizawa M, Goto J, Tsuji S	Development of a high-throughput microarray-based resequencing system for neurological disorders and its application to molecular genetics of amyotrophic lateral sclerosis	Arch Neurol	65(10)	1326-1332	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

Nishihira Y, Tan C-F, Hoshi Y, Iwanaga K, Yamada M, Kawachi I, Tsujihata M, Hozumi I, Morita T, Onodera O, Nishizawa M, Kakita A, Takahashi H	Sporadic amyotrophic lateral sclerosis of long duration is associated with relatively mild TDP-43 pathology	Acta Neuropathol	Epub ahead of print	PMID: 18923836	2008/10
Takagi M, Tanaka K, Suzuki T, Miki A, Nishizawa M, Abe H	Anti-aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis	Acta Ophthalmol Scand	Epub ahead of print	PMID: 19021599	2008/11
Terajima K, Matsuzawa H, Shimohata T, Akazawa K, Nishizawa M, Nakada T	tract-by-tract morphometric and diffusivity analyses in vivo of spinocerebellar degeneration	J Neuroimaging	Epub ahead of print	PMID: 19021844	2008/10
Tezuka T, Ozawa T, Takado Y, Sato K, Oyake M, Nishizawa M	Megacolon in patients with multiple system atrophy with predominant parkinsonian features	Mov Disord	in press	in press	2008
西澤正豊	脊髄小脳変性症の全体像と分類	難病と在宅ケア	14(3)	46-48	2008
西澤正豊	スモン・水俣病	Modern Physician	28(5)	661-663	2008
横関明男、譚春鳳、田川朝子、岡本幸市、西澤正豊、高橋均、小野寺理	TAR DNA binding protein-43遺伝子変異を伴った筋萎縮性側索硬化症	Dementia Japan	22(1)	60-67	2008
下畑享良、西澤正豊	脊髄小脳変性症の合併症対策～その多くは対症療法によって改善が望める～	難病と在宅ケア	14(4)	14(4)	2008
下畑享良、西澤正豊	多系統萎縮症の睡眠呼吸障害と突然死	医学のあゆみ	226(8)	586-587	2008
譚春鳳、横関明男、小野寺理、西澤正豊、高橋均	家族性ALSとTDP-43	神経内科	68(6)	558-564	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

【 エッセイなど 】

著者名	論文題名	雑誌名	巻	頁	出版年
高石浩一	河合先生に戴いたもの	京都文教大学心理臨床センター紀要	第10号	9月11日	2008/3
高石浩一 共著	誌上カンファレンス④ 樹木画データの読み込みから	そたちと臨床 明石書店	第4号	40-49	2008/4
高石浩一 共著	不登校・引きこもり研究会主催講演会実施 報告書—引きこもりはなぜ「治る」のか？—	臨床心理学研究科紀要	第6号	57-58	2008/3
高石浩一	鶴見和子とエリクソン	『人間学研究Vol.8』 京都文教大学人間学研究所紀要		131-132	2008/3
高石浩一	第15回 日本語臨床研究会見えてあるき	日本語臨床研究会通信 第15回研究会印象記	第18号	1-2	2008/6
高石浩一	長編フエチ	本の時間 毎日新聞社	第3巻9号	78-79	2008/8

【 論文 】

著者名	論文題名	雑誌名	巻	頁	出版年
高石浩一	カンファレンスの上手な出方	京都文教大学心理臨床センター紀要	第10号	79-85	2008/3
高石浩一 共著	被虐待児に対する心理教育プログラムの試み —児童養護施設における心理臨床活動—	臨床心理学研究科紀要	第6号	41-50	2008/3

研究成果の刊行に関する一覧表

【 学会発表 】

発表者氏名	演題名	出版年
高石浩一 共同	罪のカウンセリング	2008/4
	日本語臨床研究会第15回(於 京都府立医大) 司会・コメンテーター、共同司会 森岡正芳(神戸大 学)	

【 講演など 】

発表者氏名	演題名	日時
高石浩一	青少年の心の健康について — 今、現場で起こっていること —	2008/2/14
高石浩一	発達障害から人格障害へ — 概念の変遷と最近の話題 —	2008/2/20
高石浩一	引きこもりについて	2008/2/25
高石浩一	イントロダクション 所長・ウカイ、自らを語る	2008/5/14
高石浩一	発達障害と親への対応	2008/5/14
高石浩一	インターネット社会と高校生	2008/6/4
高石浩一	ケータイ・ネットと子どもたちの世界	2008/6/8
高石浩一	事例検討	2008/6/21
高石浩一	学校裏サイト等をめぐる問題に関して・・・	2008/7/5

研究成果の刊行に関する一覧表

高石浩一	ネット時代の子どもたち	相楽地方PTA連絡協議会人権講演会講師 (於 木津市立山城中学校)	2008/11/16
高石浩一	子どもの心の居場所	宇城久学校保健会 保健主事・養護教諭研修会講師 (於 宇治市生涯教育センター)	2008/11/27
高石浩一	若者をとりまく社会問題(XI) ―ネットの傾向と対策―	第46回全国学生相談研修プログラム講師 (於 東京国際フォーラム)	2008/12/1
高石浩一	学生相談の昨今の話題 ―ネットの傾向と対策―	奈良大学学生相談研修会講師 (於 奈良大学)	2008/12/11
高石浩一	高校における発達障害と特別支援	神戸工科高校人権研修会講師 (於 神戸工科高校)	2008/12/15

【 研究成果 】

著者名	論文題名	雑誌名	巻	頁	出版年
Miki Fukuyama, Atsushi Asai, Koichiro Itai, Seiji Bito	A Report on Small Team Clinical Ethics Consultation Programs in Japan	Journal of Medical Ethics	Vol.34	858-862	2008
Sachi Chiba, Koichiro Itai, Yachiyo Tsuchiya, Motoki Onishi, Shinji Kosugi, Atsushi Asai	Attitudes of Japanese bioethical educators towards life-sustaining treatment in the Wendland case, A descriptive study, Eubios	Journal of Asian and International Bioethics	Vol.18, No.2	34-40	2008
福山美季、浅井篤、板井孝彦、尾藤誠司	臨床倫理コンサルタントは何者であるべきか、	生命倫理	Vol.19	98-105	2008
Atsushi Asai, Koichiro Itai, Keiichi Shioya, Kazuko Saita, Mami Kayama, Shimichi Izumi	Qualitative Research on Clinical Ethics Consultation in Japan -the Voices of Medical Practitioners	General Medicine	Vol.9, No.2	47-55	2008

付録
電子相談票マニュアル

ごあいさつ
全国難病相談支援センターの皆様へ

平成 15 年度から開始された難病相談・支援センター事業は、地域で生活する難病患者・家族等の日常生活における相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などが円滑に行われることを目的とした事業です。

このような多岐にわたる目的を十分に果たすためには、本来ならば相応のスタッフと予算措置が必要と思われます。しかし、全国的に現状は厳しい状況で、相談員の皆様の仕事は精神的にもご苦労が多く、煩雑な事務作業も多いものとお察しいたします。

私ども「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」班では、これまでホームページ上に相談員の方のための相談窓口を開設し、また過去の全国難病センター研究会の発表内容を閲覧できるようにするなど、皆様のご支援をしてきました。

このたび、本研究班の分担研究者である群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学 岡本幸市先生の監修の下に、電子相談票を作成しましたので、CD をお送り致します。この電子相談票は、皆様が受けられた相談の記録を簡便に整理する目的で作成されました。皆様の中にはコンピュータの苦手な方や、職場の環境がコンピュータ管理にふさわしくない場合もあるかと存じます。この相談票は使用を強制するものではありません。しかし、これをご活用していただくことで、業務の簡便化・相談実績の客観化に繋がり、有益なツールであると考えております。ご使用いただければ幸いです。

平成 21 年 春

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」
研究代表者 今井尚志

※ご使用にあたっての注意事項

著作権は本研究班と群馬県難病相談支援センター及び開発担当の(企)S.R.Dにありますので、許可無く支援センター外の業務でご使用にならないようお願い致します。ご使用に際してのお問い合わせは、当面の間下記までご連絡ください。

群馬県難病相談支援センター (月～金曜日 9:00～16:00)

電話番号:027-220-8069

E-mail:nanbyou-soudan@showa.gunma-u.ac.jp

相談票入力支援プログラム

取り扱い方法



監 修

特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究
研究代表者 今井 尚志

協 力

群馬県難病相談・支援センター

製 作

(企) S. R. D

目次

I 相談票を使う準備

- 1 インストール、相談票を1台で使う場合、相談票を複数台で使う場合
- 2 データファイルの指定(1台のパソコンで使用する場合)
- 3 データファイルの指定(複数台のパソコンで使用する場合)
- 4 インストールがうまくいかないとき
- 5 画面表示の変更、タブの表示について

II 相談票の設定変更

- 1 相談票の入力項目
- 2 プルダウンメニューの変更
- 3 その他の設定変更が可能な項目
- 4 特定疾患の病名入力
- 5 その他の疾患の病名登録
- 6 相談区分の追加
- 7 設定の変更をサブパソコンで使用している相談票に反映させる

III 相談票に入力

- 1 新規相談の場合:パソコンから相談票を立ち上げて、日時、相談時間を入力する
- 2 対象者の情報を入力する
- 3 疾患情報を入力する:難病外の疾患、診断未確定、病名不明の場合
- 4 相談内容(区分)、対応、連携先関係機関を入力する
相談区分(1)、(2)、(3)
- 5 相談票入力後に登録(記録)する、相談票をめくる
- 6 バックアップの方法、ログインパスワードの変更

IV 相談票の検索機能

- 1 継続相談の場合:以前の相談票を検索する

V 相談票を印刷、レポートを作成

- 1 センターにおける保存用、連携先機関へのレポートの作成

VI 統計処理ソフトを使う

- 1 各種統計データを自動的に処理

I-1 相談票を使う準備

インストール、相談票を1台で使う場合、相談票を複数台で使う場合

まず最初に、相談票用に使用するパソコンにインストールします。

- ① インストール用のCDを挿入します。
- ② 「新規インストール」をクリック。
- ③ メニュー起動後「次に」を4回クリック。
- ④ 「インストールフォルダがありません。作成してもよろしいですかと表示されたら「はい」をクリック。
- ⑤ 相談票ソフトがインストールされます。「完了」をクリックしてください。

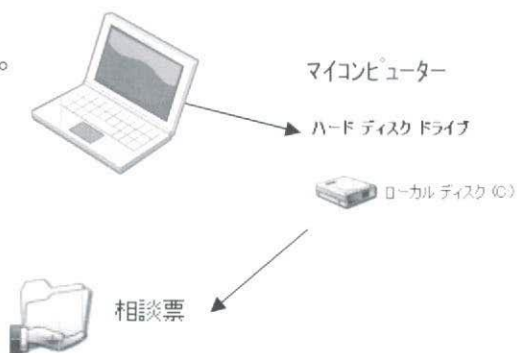
*** ディスก์トップに、「相談票」、「統計処理」のExcelのアイコンができます。**



重要 使用前に必ずお読みください

相談票を1台で使う場合（設定方法はII-2を参照）

- ① マイコンピュータのローカルディスク(C)をクリック。
- ② 相談票フォルダの中にデータファイルがあります。

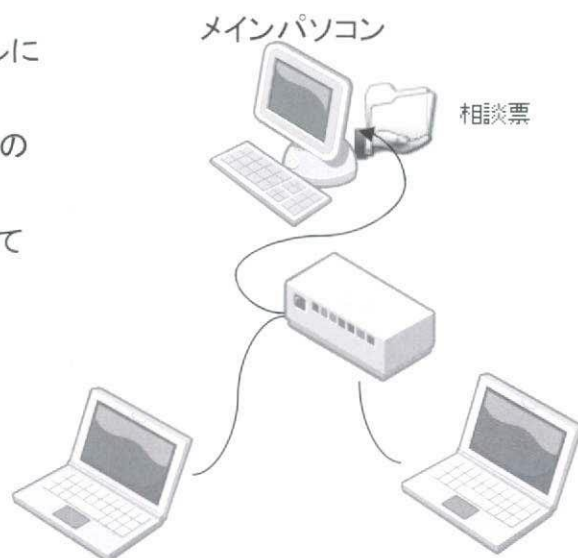


複数で使う場合（設定方法は、II-3を参照）

- ① メインパソコンの相談票フォルダのデータファイルに入力したデータは蓄積されます。
- ② 他のパソコンで入力したデータも、メインパソコンのデータファイルの中に蓄積されます。
- ③ データファイルを共有する方法は、各施設によって設定方法が違います。

インターネットにつなげる必要はありません。

- ④ 施設の情報処理担当者にご相談ください。



I-2 相談票を使う準備

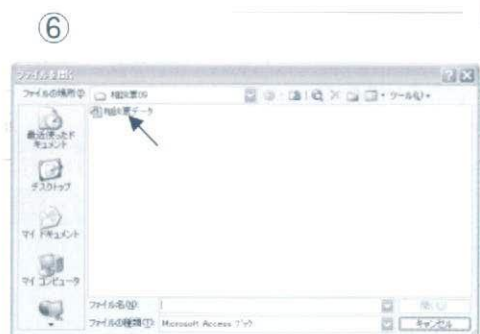
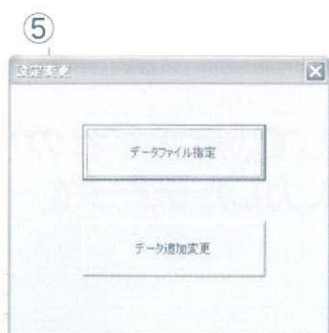
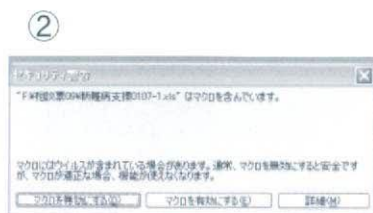
データファイルの指定 - 1台のパソコンで使用する場合 -



簡単な作業ですが、パソコン操作に慣れていない方はExcelを使用できる方に相談してください。

- ① デスクトップ上の「相談票」のアイコンをクリック。パスワードを入力「1234」(初期設定)
- ② 「マクロを有効にする」をクリック。(表示されない場合もあります)
- ③ マクロが実行できない場合は、Excel起動後、「ツール」-「マクロ」-「セキュリティ」で「低」か「中」を選び、再度相談票を起動してください。
- ④ -Excel 2007 でマクロを有効にするには、次の手順で設定を変更します-
オフィスボタンを押します。(Excelの左上にある丸いボタンでカーソルを持っていくと、Officeボタンと表示されます。)
 - 開いた画面の下左側の「Excelのオプション」ボタンを押す。
 - 開いた画面で左側の「セキュリティセンター」を選択する。
 - 「セキュリティセンターの設定」ボタンを押す。
 - 左側で「マクロの設定」を選択。
 - 右で「マクロの設定」項目が表示されているので、4段階の何れかを選択する。

* 画面右側の“すべてのマクロを有効にする”を選択して [OK] をクリックします。
- ⑤ 相談票画面右上の「設定変更」をクリック
- ⑥ 「データファイル指定」をクリック。「相談票データ」を選択し「開く」をクリック。
デフォルト(初期設定)では「c: ¥相談票」(ローカルディスク(C))にあります。



I-3 相談票を使う準備

データファイルの指定 ー複数台のパソコンで使用する場合ー



重要 使用前に必ずお読みください

施設によって設定方法が違います。

必ず、管理者、または情報処理担当者に連絡し、パソコン操作に詳しい方が設定してください。

- ① ①～⑤までは、I-2と同じ。
- ② ネットワークを形成し、ファイルの共有設定をすることが必要です。
- ③ **インターネットに接続する必要はありません。**
セキュリティ面から考えますと接続していない方が好ましいです。
- ④ 1台を、メインパソコンとし、メインパソコンはII-2のように設定する。
- ⑤ サブパソコンは、相談票:「設定変更」→「データファイル指定」をクリック後、「マイネットワーク」を選択。
- ⑥ メインパソコンのアイコンをクリック。
- ⑦ 「相談票データ」を置いてあるフォルダーをクリック。
- ⑧ 「開く」をクリック。
- ⑨ これを、メインパソコン以外のすべてのパソコンで行ってください。



重要 使用前に必ずお読みください

サブパソコンから入力されたデータは、メインパソコンのデータファイルに保存されます。

上記の設定は必ず行ってください。



記入者がパソコン1台ごとに相談票に入力して、それぞれのパソコン内のデータファイルに保存した場合は、後に入力したデータを一緒にすることはできません！！

I-4 相談票を使う準備

インストールがうまくいかないとき

CDを挿入しても、プログラムが起動しないとき

- ① 「マイコンピュータ」より、インストール用のCDを挿入したドライブを開きます。
- ② CDの中にある「soudan」をダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。
- ③ I-1 ③以下と同様に行います。

上記を行っても上手くいかないとき

- ① 「マイコンピュータ」より、「CDドライブ」を開きます。
- ② 「相談票」フォルダーを作成します。
- ③ 「マイコンピュータ」より、インストール用のCDを挿入したドライブを開きます。
- ④ CDの中にある「新難病支援相談票」「統計処理」「相談票データ」を先ほど作った「相談票」フォルダーにコピーします。
- ⑤ 「新難病支援相談票」を選択し、マウスを右クリックし、「送る」→「デスクトップ(ショートカットを作成する)」を選択し、ショートカットを作成します。
- ⑤ 「統計処理」も同様にショートカットを作成します。

I-5 相談票を使う準備

画面表示の変更、タブの表示について

最初は、XGA(1024×768)で表示されます。

ディスプレイの解像度が高い場合は、「ズーム」で画面に合わせ変更することができます。

- ① 相談票、左上の「ファイル」-「終了」を選びます。
- ② 「保存ダイアログ」が出るので「キャンセル」します。
- ③ ツールバーが表示されるので、「表示」-「ズーム」を選びます。
- ④ ディスプレイの解像度に合わせ倍率を変更します。

状況によって「相談票」「統計処理」とも、画面下部にExcelのタブが表示される場合があります。

タブでページを移動すると、入力や統計処理が上手くいかない場合がありますので、タブを使用して移動されないことをお勧めいたします。

相談票でタブを非表示にするには、プログラムを再起動することで非表示になります。

統計処理では下記の方法でタブを非表示にすることができます。

- ① 「統計処理」を起動させます。
- ② 画面上部のメニューより「データ」-「オプション」を選び、「表示」タブを選択します。
- ③ 画面右下にある「シート見出し」のチェックをはずします。
- ④ 「OK」を押しウインドウを閉じます。

Ⅱ-1 相談票の設定変更

相談票の入力項目

「データファイルの指定」はしましたか？(詳しくは、Ⅰ-2、3を参照)

「データファイルの指定」をしていないと、相談票が機能しません！！

相談票を使用する前に、各センターの実情に合わせて設定を変更してください

- ① 初期に変更しなければならない入力項目は、下図で示しています。□
- ② 相談票の記入者など、使用前に設定する項目があります。
- ③ 設定の変更については、次項からを参照してください。

入力項目	説明
記入者	センターで相談を受ける方の氏名
住所1	「県内」「県外」「その他」「不明」など
住所2	区名、市町村名、保健所管轄など、統計処理時の目的によって
療養場所	「自宅」「医療機関」「施設」など
病状	「不安定」「進行」「安定」など
対応	「傾聴」「助言」「情報提供」「関係機関調整・連携」「他の相談窓口紹介」など
連携関係機関	「保健所」「医療機関」「患者会」など
自由設定1~4	各センターで必要な統計をとるために使用してください。 「自由設定」と書かれている青いセルにカテゴリ名を入力してください。 下のセルにサブカテゴリを入力してください。

プルダウンメニューの入力例

記入者 : センターで相談を受ける方の氏名

住所1 : 「県内」「県外」「その他」「不明」など

住所2 : 区名、市町村名、保健所管轄など、統計処理時の目的によって

療養場所 : 「自宅」「医療機関」「施設」など

病状 : 「不安定」「進行」「安定」など

対応 : 「傾聴」「助言」「情報提供」「関係機関調整・連携」「他の相談窓口紹介」など

連携関係機関 : 「保健所」「医療機関」「患者会」など

自由設定1~4 : 各センターで必要な統計をとるために使用してください。

「自由設定」と書かれている青いセルにカテゴリ名を入力してください。

下のセルにサブカテゴリを入力してください。

II-2 相談票の設定変更

プルダウンメニューの変更



重要 使用前に必ずお読みください

設定変更は、相談票の管理者(メインパソコン使用者)のみが行ってください。

変更後、サブパソコンから変更後の設定についてのデータを「呼び出し」て「保存」することで、全てのパソコンが同じ設定で相談票を使用することができます。

- ① 相談票:「設定変更」をクリック。
- ② 「データ追加変更」をクリック。
- ③ 「プルダウンメニューの変更」をクリック。
- ④ 「記入者」「住所1」「住所2」「療養場所」「病状」の欄は、青のセルの入力項目については、すでに相談票に設定済みですので変更できません。青のセル以下の部分は使用者が設定します。
- ⑤ 「自由設定1」「自由設定2」「自由設定3」「自由設定4」については、まず、青のセルの内容を変更して入力項目名を決めてください。

プルダウンメニュー変更

この項目の使用方法は、各センターで決めてください。センター独自の事業や、統計を処理目的のデータの入力が可能です。入力結果は、すべて統計データとしてExcelに反映されます。

データはコピーして別のExcelファイルにて使用することが可能です。

- ⑥ 入力した結果は、相談票の表示に反映されます。
- ⑦ 変更したいセルをクリックすると「変更」の場面が出ます。入力してから「登録」をクリック。削除したい場合も同様に、「削除」をクリックするとセルが削除されます。
- ⑧ 変更が終了したら「戻る」をクリック。
- ⑨ 「サーバー保存」をクリックし、設定の変更を保存します。
- ⑩ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、設定の変更を保存します。

戻る

記入者	住所1	住所2	療養場所	病状	研修	自由設定2
群馬まほろ	県内	前橋	自宅	安定	相談	一部介助
	県外	高崎	医療機関	不安定	成事者	全介助
	不明	伊勢崎	施設	進行	速援会	
		桐生	その他			
		渋川				
		沼田				
		藤岡				

⑦ 変更

登録 キャンセル 削除

サーバー呼出

サーバー保存

⑩ Microsoft Excel

パスワードを入力してください。
不明の場合は管理者に連絡してください?

OK キャンセル

II-3 相談票の設定変更

その他の設定変更が可能な項目

設定変更は、相談票の管理者(メインパソコン使用者)のみが行ってください。

変更後、サブパソコンから変更後の設定についてのデータを「呼び出し」で「保存」することで、全てのパソコンが同じ設定で相談票を使用することができます。

- ① 相談票:「設定変更」をクリック。
- ② 「データ追加変更」をクリック。
- ③ 「情報の変更」画面では、「プルダウンメニューの変更」以外に下記のことができます。
- ④ 「特定疾患」病名新規登録
国の特定疾患が追加されたときや都道府県で単独事業として医療給付対象としての特定疾患がある場合に、追加、または「公費助成」の有無について変更または追加します。
- ⑤ 「その他の疾患」病名新規登録
特定疾患以外の小児慢性特定疾患やその他の疾患については、新規の入力時に病名の登録を行ってください。
- ⑥ 相談区分表変更

「事業」に関すること	10項目
「患者会活動」に関すること	15項目
「患者交流」に関すること	10項目
「ボランティア活動」に関すること	10項目
「その他」に関すること	10項目
- ⑥ 変更したいセルをクリックすると「変更」の場面が出ます。入力してから「登録」をクリック。削除したい場合も同様に、「削除」をクリックするとセルが削除されます。
- ⑦ 変更が終了したら「戻る」をクリック。
- ⑧ 「サーバー保存」をクリックし、設定の変更を保存します。
- ⑨ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、設定の変更を保存します。

③ 情報の変更

その他の疾患は、特定疾患以外の疾患です。新規入力時に登録が必要です。50音を選択して、該当の欄所に入力してください。

「特定疾患」病名新規登録
(50音検索)
エリア アクション ステータス
特定疾患の名称を確認ください。0019は都道府県高規格の案内も可能です。0019は「公費助成」は都道府県単独事業の対象疾患は登録してください。特定疾患が追加されたときには登録してください。

「その他の疾患」病名新規登録
(50音検索)
エリア アクション ステータス
特定疾患以外の疾患は、新規入力時に登録が必要です。疾患名と分類を登録してください。

相談内容区分変更
プルダウンメニュー変更
戻る
サーバー呼出
サーバー保存
ログイン パスワード変更

⑧ サーバー呼出
サーバー保存

⑨ Microsoft Excel
パスワードを入力してください。
不明の場合は管理者に連絡してください?
OK
キャンセル

Ⅱ-4 相談票の設定変更

特定疾患の病名入力

設定変更は、相談票の管理者(メインパソコン使用者)のみが行ってください。

変更後、サブパソコンから変更後の設定についてのデータを「呼び出し」て「保存」することで、全てのパソコンが同じ設定で相談票を使用することができます。

① 相談票:「設定変更」をクリック。

② 「データ追加変更」をクリック。

例)「アレルギー性肉芽腫性血管炎」を入力する場合

③ 「特定疾患」病名新規登録の「ア行」をクリック。

④ **ア**の欄で、一番下の空欄にカーソルを移動し、クリック。

⑤ 「疾患名入力」の画面が出ます。
→「疾患名」を正しく入力します。
→「疾患群」を選択します。
→公費助成「ある」「なし」、都道府県単独事業「ある」「なし」を選択します。

⑥ 入力してから「登録」をクリック。
削除したい場合も同様に、「削除」をクリックするとセルが削除されます。

⑦ 変更が終了したら「戻る」をクリック。

⑧ 「サーバー保存」をクリックし、設定の変更を保存します。

⑨ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、設定の変更を保存します。

③

	疾患名	疾患群	公費助成	都道府県単独事業
ア	lgA腎症	腎・泌尿器	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	lgA腎症	腎・泌尿器	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	亜急性壊性全脳炎(SSPE)	神経・筋	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	悪性腫瘍リウマチ	免疫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	副腎低形成(アシソン病)	内分泌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アミロイドーシス	代謝	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	アレルギー性肉芽腫性血管炎	免疫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
イ				
ウ	ウェリス動脈輪閉塞症(モヤモヤ病)	神経・筋	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ウェグナー肉芽腫症	免疫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

⑧

サーバー呼出

サーバー保存

⑨

Microsoft Excel

パスワードを入力してください。
不明な場合は管理者に連絡してください?

OK

キャンセル

Ⅱ-5 相談票の設定変更

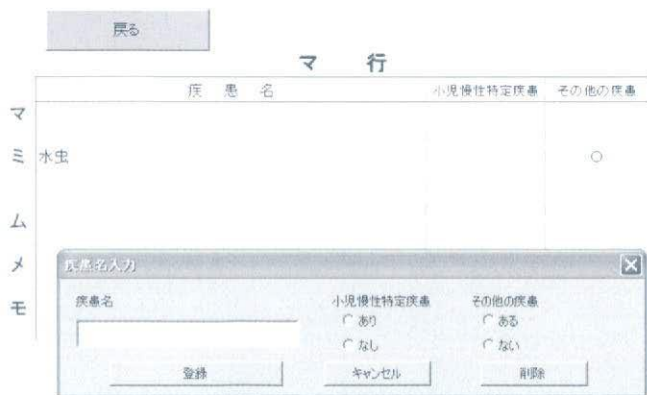
その他の疾患の病名登録

設定変更は、相談票の管理者(メインパソコン使用者)のみが行ってください。

変更後、サブパソコンから変更後の設定についてのデータを「呼び出し」て「保存」することで、全てのパソコンが同じ設定で相談票を使用することができます。

- ① 相談票:「設定変更」をクリック。
- ② 「データ追加変更」をクリック。
例)「水虫」を入力する場合
- ③ 「その他の疾患」病名新規登録の「マ行」をクリック。
- ④ ミの欄の空欄にカーソルを移動し、クリック。
- ⑤ 「疾患名入力」の画面が出ます。
→「疾患名」を入力します。
→小児慢性特定疾患で「ある」「なし」と、その他の疾患で「ある」「なし」を選択します。
- ⑥ 入力してから「登録」をクリック。
削除したい場合も同様に、「削除」をクリックするとセルが削除されます。
- ⑦ 変更が終了したら「戻る」をクリック。
- ⑧ 「サーバー保存」をクリックし、設定の変更を保存します。
- ⑨ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、設定の変更を保存します。

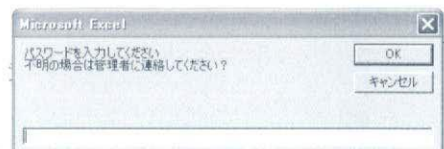
③



⑧



⑨



II-6 相談票の設定変更

相談区分の追加

設定変更は、相談票の管理者(メインパソコン使用者)のみが行ってください。

変更後、サブパソコンから変更後の設定についてのデータを「呼び出し」て「保存」することで、全てのパソコンが同じ設定で相談票を使用することができます。

- ① 相談票:「設定変更」をクリック。
- ② 「データ追加変更」をクリック。

相談区分表変更の自由設定のセルを変更する

相談区分は、先行研究に基づき、研究グループで検討されたものです。あらかじめ設定された相談区分については変更できませんが、各センターの実情に合わせて自由設定できる部分があります。

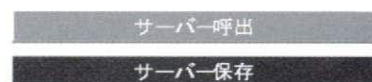
入力されたデータは、Excelに入力されたデータとして利用できますので、各センターにおける統計処理に利用できます。

- ③ 「相談内容区分変更」をクリック。
- ④ 変更したいセルをクリックすると「変更」の場面が出ます。
- ⑥ 入力してから「登録」をクリック。
削除したい場合も同様に、「削除」をクリックするとセルが削除されます。
- ⑦ 変更が終了したら「戻る」をクリック。
- ⑧ 「サーバー保存」をクリックし、設定の変更を保存します。
- ⑨ 管理者のみが使用できる「パスワード」を入力し、設定の変更を保存します。

③



⑧



⑨

